

守ろう・造ろう・たいせつな立山の清流

イワナ的人工産卵実験床の造成しました。

立山砂防事務所では、自然環境と調和した砂防事業を進めています。今回、環境配慮の取り組みの一環として、常願寺川への流入支川において人工産卵実験床の造成を行いました。当日は秋晴れの空の下、富山県立大学の高橋准教授の御指導のもと、常願寺川水辺の楽校人・川ふれあい連絡会、立山芦峯小学校外約50名の手により、全7ヶ所の人工産卵実験床を造成しました。



造成箇所(全景)

造成作業の手順について、高橋先生が実績を交えながら熱心にご指導いただきました。



作業風景

参加者全員、楽しみながら取り組みました。

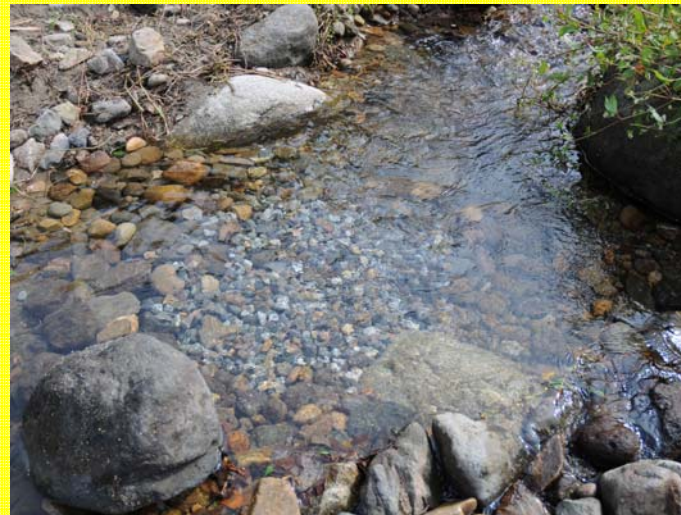


協働作業で、いい汗かきました！



最後はみんなで記念撮影。

完成した人工産卵実験床



イワナの産卵期は11月中旬頃。今後は、地元のみなさんと共に、産卵環境を見守っていききたいと思います。

